

MDJ プレスリリース



MEDICA/COMPAMED 2011

ファイナルレポート

“MedTech”産業への追い風

デュッセルドルフで開催された MEDICA2011（11月16日～19日）では4,571の出展者が、効率性・高品質化が図られた医療機器、医療製品などの新製品、サービスなどを、医療従事者やディストリビューター向けに展示し、販売を主な目的に活発な商談を行った。同時開催の COMPAMED2011（11月16日～18日）では医療機器・製品メーカーの川上であるサプライヤー627社が、部品、材料や高い加工技術を展示した。会期中のビジター数は約134,500人（2010年:137,087人）であった。



4日間の会期を終え、主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、シェーファーは、今回の世界最大のメディカル見本市の結果を次のように総括した。

「出展者である医療機器、医療製品や医療ITのメーカーはデュッセルドルフでの MEDICA というビジネス・スキームを再度活用し、顧客開拓や活発な商談を行いました。業界団体のレポートによるとポジティブな雰囲気が出展者や世界中から訪問したビジターに見られ、特に購入決定権を持つビジターとの商談結果に満足しているとの事です」

重要なポイントとしてあげられるのは MEDICA/COMPAMED の国際性の高さだ。ビジター参加国は100カ国を数え、2011年は半数がドイツ以外からの来場だった。出展者はメッセ会場内で世界中のポテンシャルとのコミュニケーションを図ることができる。また今回はVIPビジターとしてEU・欧州委員会のジョン・ダリ保健消費者保護担当委員がMEDICAを視察した。同氏は今回のメッセ訪問を通じ、MEDICAにおける豊富なイノベーションの数々や、成長産業のハブとしての中心的役割を担うMEDICAの重要性に注目した。

会期中4日間会場ホールで開催されたフォーラムも好評であった。IT技術を駆使しての遠隔医療やメディカルITをテーマとしたMEDICA MEDIA FORUMや、理学療法のMEDICA PHYSIO FORUM、医療機器のイノベーション技術に関するMEDICA TECH FORUM、そして初めての開催となった外傷などの治療に関するMEDICA WOUND CARE FORUMなど、多くのテーマをのちと多数の参加者を集め、ドイツ語、一部は英語で開催された。

COMPAMED は今回も医療機器や医療製品の製造技術・部品・材料に関するショウケースとして MEDICA と同時開催された（会期 3 日間）。40 カ国より 627 の出展者を数えた今回の COMPAMED は過去最大の規模となり、ホール 8a 及び 8b の 2 つのホールに出展された医療機器製造向けハイテク・ソリューションは約 16,000 人の医療機器製造の開発・製造部門関係者のビジターに対し展示された。それに加え新素材、機械及び電子部品、パッケージング、品質検査関連及び最終加工技術が会場内の 2 つの専門フォーラムで発表され、今後の可能性について議論が行われた。



日本からは過去最高の 101 社が出展

日本からは今回、MEDICA88 社（2010 年:77 社）、COMPAMED13 社（同:8 社）と、過去最高の計 101 の出展者が参加し、各社ブースで商談や製品のプロモーションを行った（数字:現地法人出展を除く）。昨年に続きジェトロや神戸市がパビリオンを設置、COMPAMED では新たに日立市がパビリオンを設置し、関連メーカーの出展をサポートした。



ジェトロが組織したジャパン・パビリオンには、ドイツをはじめ欧州等周辺国へ販路開拓を目指す日系中小企業・団体が昨年に引き続き規模を拡大して参加したほか、福島県も特別出展した。また、ジェトロの速報によると同パビリオン（福島県含む）での会期中のビジネス成果は、商談件数 1,410 件、見込みを含む成約件数および同成約額は 149 件、約 6,330,000US ドルであり、事前のアプ取りなどの準備がよい結果に繋がったと見られる。

以下は MEDICA 日本出展企業のコメント。

- * 「ブース訪問者は例年通りの入りでした。今まで取引の少なかった中東やアジアの国からの訪問も増え、有意義な展示会になりました。」（株式会社 常光）
- * 「たくさんの販売店候補の方々と話をすることができました。競合他社の技術と自社の技術の違いを再認識するのによい場となりました。」（サクラインターナショナル株式会社）
- * 「特に海外からの来場者は減少しているが、目的を持った人があるので商談、情報とも中身は濃かった。金曜日の午後から土曜日は閑散としていたように思う。重要な業界関係者と面談し旧知をふかめる貴重な展示会と認識している。これからの業界のトレンドも把握でき、収穫は大きかった。」（サカセ化学工業株式会社）
- * 「初めての出展。集客性大。BtoB 可能。製品のアピールが可能。2 名で参加したが対応

しきれない時間もあった。日本製品に対する信頼性大。JP ロゴは助けになった。」(日本ケミファ株式会社)

*「昨年よりさらに多くの訪問者があり、新規販売店契約の話などもできた国もあり充実していた。」(株式会社ニチレイバイオサイエンス)

次に COMPAMED 日本出展企業のコメント。

*「3年目の出展になりますが、これまで以上の多くの引き合いをいただき、成果の多い展示会になりました。」(財団法人 いわて産業振興センター)

*「予定していた既存顧客と商談を持つことができた。新規の引き合いに関しては60件と昨年より少ないが、内容が濃く、より成約期待度が高い引き合いを受けることができ、非常に有益な出展だった。」(株式会社ユニシス)

*「世界最大規模の医療系展示会との事で、思っている以上に世界中のお客様からのご質問や引き合いがありました。日本企業であることよりも、どのような製品、技術が提供できるのかということに重点があったように思います。また単独でブース出展する方が集客があると思います。」(二九精密機械工業株式会社)

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンも会場のホール16にブースを設け、来年の出展を検討する日本企業に対し、出展費用や手続き、準備方法などの説明を行った。また昨年に引き続き3,000部作成した「日本出展者リスト」をブース訪問した外国人ビジターに配布し、日本企業ブースへの訪問を促した。

次回 MEDICA2012 は 2012 年 11 月 14 日から 17 日まで

COMPAMED 2012 は 2012 年 11 月 14 日から 16 日まで開催の予定。

MEDICA2012 への出展申し込み締め切りは 3 月 1 日厳守

COMPAMED2011 への出展申し込みは 3 月より 5 月 15 日まで

申込に関しますお問い合わせは下記(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンまで。

公式サイト <http://www.medica.de> <http://www.compamed.de>

日本語サイト <http://medica.messe-dus.co.jp> <http://compamed.messe-dus.co.jp>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp